

笑いで広がる新しい体験



講座日：2026 年 10 月 2 日(金)

校外学習：2 班：繁昌亭（上方落語解説とバックヤードツアー／昼席鑑賞）

午前は、上方落語の解説とバックヤードを見せていただくツアーでした。事前に予約をして、私達だけの貸切りです。

まずは、桂小留（ちろる）さんの落語解説から始まりました。

繁昌亭は、大阪天満宮の土地を無償で貸与していただき、20 年前に建てられました。

昔、このあたりは「天満八軒」と呼ばれ、寄席や芝居小屋がひしめいており、その場所に寄席の定席が復活したということになるそうです。そして、建物は大勢の方の寄付で建てられました。

落語の定義は「1 人で 2 人以上の人物を演じること」だそうで、実際に 2～5 人まで演じ分けていただき大爆笑となりました。

太鼓は若手が叩くため、落語と共に太鼓の練習もしなければならないことや、演者の前に置いている台は「見台（けんだい）」と言い、江戸落語ではなく上方落語だけにあることなどを教えていただきました。

そして、いよいよバックヤードツアーです。楽屋やお囃子（はやし）さんが座る場所などを見せていただきました。今日出演する中で一番の若手が、ネタ帳（根多帳と書く）の記録など雑用一切を引き受けるという話や、お茶子さんからは、演者の着物の色や雰囲気に合わせて、何色もある座布団の中からぴったりのものを選ぶというお話も伺えました。

一旦外に出て班で美味しいランチをいただいたあと、午後は昼席の鑑賞です。一番いい席を用意していただきました。

本日の演者は 9 名で、今週は桂小梅さんが繁昌亭で初めてトリを務められるとのことで、中入り後には口上もありました。先輩噺家さんが小梅さんの紹介をするのですが、これまた大爆笑。



生で聴く落語は本当にいいですね。あらためて落語の面白さを実感しました。

（2 班広報担当 K.T）

1 班は、さわやかな秋晴れのもと、堺に行きました。市役所 2 1 階展望台から大山古墳（仁徳天皇陵古墳）・あべのハルカスなどを眺めた後、堺伝承館・鉄砲鍛冶屋敷・清学院を見学しました。刃物や鉄砲の高い技術や歴史の一コマにふれ、3 編成のチンチン電車（阪堺電車）も楽しみました。（CA）

緑の木の生い茂ったところが大山古墳（仁徳天皇陵古墳）➡

